

# 「全国財務局管内経済情勢報告概要」の主なポイント (令和3年7月判断)

財務省

令和3年8月3日


# 地域経済の概況（令和3年7月判断）

## 1. 各地域の経済情勢

- 各財務局管内の経済情勢を示す「総括判断」は、8地域で「据え置き」、3地域で「上方修正」。
  - 前回（令和3年4月）と比較すると、新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるなか、「一部に弱さがみられるものの、持ち直しつつある」や「持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている」などとしている。
- 各財務局の個別項目の判断
  - 「個人消費」は、1地域で「上方修正」、9地域で「据え置き」、1地域で「下方修正」。
  - 「生産活動」は、3地域で「上方修正」、7地域で「据え置き」、1地域で「下方修正」。（沖縄の「観光」は、「据え置き」）
  - 「雇用情勢」は、2地域で「上方修正」、9地域で「据え置き」。

## 2. 全局総括判断

- 地域経済に関する各財務局の報告をとりまとめると、
  - 「個人消費」は、持ち直しつつあるが、感染症の影響により、サービス消費等の一部に弱さがみられる。
  - 「生産活動」は、緩やかに持ち直している。
  - 「雇用情勢」は、求人等の動きに底堅さがみられるものの、感染症の影響により、弱い動きとなっている。
- これらを踏まえ、「全局総括判断」は、前回（令和3年4月）から判断を「据え置き」とした。（3期連続の「据え置き」）先行きについては、感染の動向が地域経済に与える影響に十分注意する必要がある。

	前回（令和3年4月判断）	今回（令和3年7月判断）	基調比較
全局 総括判断	新型コロナウイルス感染症の影響により、 <u>厳しい状況にあるなか、一部に弱さがみられるものの、持ち直しつつある</u>	新型コロナウイルス感染症の影響により、 <u>厳しい状況にあるなか、一部に弱さがみられるものの、持ち直しつつある</u>	 据え置き

（注1）令和3年7月判断は、前回4月判断以降、足下（7月末）の状況までを含めた期間で判断。

（注2）下線部が基調判断。

# 各地域の「総括判断」の比較

	令和3年4月判断		令和3年7月判断	
全局	新型コロナウイルス感染症の影響により、 <u>厳しい状況にあるなか、一部に弱さがみられるものの、持ち直しつつある</u>	➡	新型コロナウイルス感染症の影響により、 <u>厳しい状況にあるなか、一部に弱さがみられるものの、持ち直しつつある</u>	➡
北海道	新型コロナウイルス感染症の影響により <u>厳しい状況にあるなか、持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている</u>	➡ (表現変更)	新型コロナウイルス感染症の影響により <u>厳しい状況にあるなか、持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている</u>	➡
東北	新型コロナウイルス感染症の影響により、 <u>厳しい状況にあるものの、緩やかに持ち直しつつある</u>	➡	新型コロナウイルス感染症の影響により、 <u>厳しい状況にあるものの、持ち直しつつある</u>	➡
関東	新型コロナウイルス感染症の影響により、 <u>厳しい状況にあるなか、一部に弱さがみられるものの、緩やかな持ち直しの動きが続いている</u>	➡ (表現変更)	新型コロナウイルス感染症の影響により、 <u>厳しい状況にあるなか、一部に弱さがみられるものの、緩やかな持ち直しの動きが続いている</u>	➡
北陸	新型コロナウイルス感染症の影響により、 <u>厳しい状況にあるなか、一部に足踏みがみられるものの、持ち直しつつある</u>	➡	新型コロナウイルス感染症の影響により、 <u>厳しい状況にあるなか、一部に足踏みがみられるものの、持ち直しつつある</u>	➡
東海	新型コロナウイルス感染症の影響により、 <u>一部に厳しい状況があるものの、持ち直している</u>	➡ (表現変更)	新型コロナウイルス感染症の影響により、 <u>一部に厳しい状況が残るものの、緩やかに回復しつつある</u>	➡
近畿	新型コロナウイルス感染症の影響により、 <u>厳しい状況にあるなか、一部に弱さがみられるものの、持ち直しつつある</u>	➡	新型コロナウイルス感染症の影響により、 <u>厳しい状況にあるなか、一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直している</u>	➡
中国	新型コロナウイルス感染症の影響により、 <u>厳しい状況にあるものの、持ち直しの動きが続いている</u>	➡ (表現変更)	新型コロナウイルス感染症の影響により、 <u>厳しい状況にあるものの、持ち直しの動きが続いている</u>	➡
四国	新型コロナウイルス感染症の影響により、 <u>厳しい状況にあるなか、一部に弱さがみられるものの、持ち直しつつある</u>	➡	新型コロナウイルス感染症の影響により、 <u>厳しい状況にあるなか、一部に弱さがみられるものの、持ち直しつつある</u>	➡
九州	新型コロナウイルス感染症の影響により、 <u>厳しい状況にあるなか、持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている</u>	➡	新型コロナウイルス感染症の影響により、 <u>厳しい状況にあるなか、持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている</u>	➡
福岡	新型コロナウイルス感染症の影響により、 <u>厳しい状況にあるなか、一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直しつつある</u>	➡	新型コロナウイルス感染症の影響により、 <u>厳しい状況にあるなか、一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直しつつある</u>	➡
沖縄	新型コロナウイルス感染症の影響により、 <u>厳しい状況にあるなか、持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている</u>	➡	新型コロナウイルス感染症の影響により、 <u>厳しい状況にあるなか、持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている</u>	➡

(注1) 下線部が基調判断。(注2) 矢印は、前回との基調比較。

# 「個別項目」の特徴的な動向

## 1. 個人消費 ※ 9地域で「据え置き」、1地域（近畿）で「上方修正」、1地域（北海道）で「下方修正」

- 「スーパー販売」は、内食需要を背景に、飲食料品を中心に引き続き堅調。
- 「百貨店販売」は、足下では、高齢者を中心に客数は増加傾向にあるものの、衣料品を中心に厳しい状況が継続。
- 「コンビニエンスストア販売」は、オフィス街や繁華街の店舗では来客数の回復が遅れているものの、住宅街の店舗は引き続き堅調となっており、緩やかに持ち直している。
- 「ドラッグストア販売」は、感染予防対策の衛生用品や飲食料品を中心に引き続き堅調。
- 「家電販売」は、巣ごもり需要の継続もあり、パソコンやテレビなどを中心に引き続き堅調。
- 「新車販売」は、半導体不足による納期の遅れもあり、持ち直しのテンポが緩やかになっている。
- 財務局のヒアリングによると、宿泊や飲食、運輸等のサービス消費は、前回（令和3年4月）以降の感染拡大の影響により、依然として厳しい状況にあり、先行きには十分注意する必要がある。

## 2. 生産活動 ※ 3地域（北陸、東海、四国）で「上方修正」、1地域（中国）で「下方修正」、7地域で「据え置き」

- 「自動車」は、国内外の需要は底堅いものの、半導体不足による減産により、足踏みの状況にある。
- 「生産用機械」は、半導体製造装置が引き続き堅調であるなど、持ち直している。
- 「電子部品・デバイス」は、情報通信機器を中心に、引き続き堅調。

## 3. 雇用情勢 ※ 2地域（東北、九州）で「上方修正」、9地域で「据え置き」

- 求人等の動きに底堅さがみられるものの、宿泊・飲食サービス業等では、弱い動きとなっている。
- 財務局のヒアリングによれば、一部のサービス業等では引き続き雇用調整助成金等を活用して雇用維持に努める企業がみられるほか、製造業等では需要回復に伴い求人を再開する企業もみられる。しかしながら、今後の感染拡大の影響によっては、サービス業等を中心に雇用調整を進める企業が増加する可能性もあるなど、先行きには十分注意する必要がある。

# 各地域の「個別項目」の比較

## 個人消費

## 生産活動 ※沖縄は「観光」

## 雇用情勢

	前回 (令和3年4月判断)	今回 (令和3年7月判断)	前回 (令和3年4月判断)	今回 (令和3年7月判断)	前回 (令和3年4月判断)	今回 (令和3年7月判断)				
北海道	新型コロナウイルス感染症の影響により一部に弱さがみられるものの、持ち直しの動きがみられる	感染症の影響により一部に弱さがみられるなか、持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている	→	緩やかに持ち直しつつある	→	新型コロナウイルス感染症の影響により、弱い動きとなっている	→	感染症の影響により、弱い動きとなっている	→	(表現変更)
東北	新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直している	新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直している	→	持ち直している	→	新型コロナウイルス感染症の影響により、弱い動きとなっている	→	新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直しつつある	→	
関東	新型コロナウイルス感染症の影響により、一部に弱さがみられるものの、緩やかな持ち直しの動きが続いている	新型コロナウイルス感染症の影響により、一部に弱さがみられるものの、緩やかな持ち直しの動きが続いている	→	一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直しつつある	→	下げ止まりの兆しがみられるものの、新型コロナウイルス感染症の影響により、弱い動きとなっている	→	下げ止まりつつあるものの、新型コロナウイルス感染症の影響により、弱い動きとなっている	→	(表現変更)
北陸	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるなか、一部に足踏みがみられるものの、緩やかに持ち直しつつある	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるなか、一部に足踏みがみられるものの、緩やかに持ち直しつつある	→	持ち直している	→	新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、緩やかに回復しつつある	→	新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直しつつある	→	
東海	感染症の影響により、持ち直しの動きに一服感がみられる	感染症の影響により、一部に弱さがあるものの、緩やかな持ち直しの動きがみられる	→	一部に弱い動きがみられるものの、緩やかに回復している	→	一部に底堅さがみられるものの、感染症の影響により弱い動きが続いている	→	一部に底堅さがみられるものの、感染症の影響により弱い動きが続いている	→	(表現変更)
近畿	持ち直しつつあるものの、足下では新型コロナウイルス感染症の急拡大の影響により減少している	一部に弱さがみられるものの、持ち直しつつある	→	持ち直している	→	新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、下げ止まりつつある	→	新型コロナウイルス感染症の影響がみられるなか、横ばいの状況にある	→	(表現変更)
中国	新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直している	新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直している	→	持ち直している	→	供給面での制約もあって、持ち直しのテンポが緩やかになっている	→	一部に底堅さがみられるものの、新型コロナウイルス感染症の影響により、弱含んでいる	→	(表現変更)
四国	感染拡大の影響により、持ち直しのテンポが緩やかになっている	感染症の影響により、持ち直しのテンポが緩やかになっている	→	緩やかに持ち直しつつある	→	感染症の影響により、弱い動きとなっている	→	一部に底堅さがみられるものの、感染症の影響により、弱い動きとなっている	→	(表現変更)
九州	新型コロナウイルス感染症の影響により、持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている	新型コロナウイルス感染症の影響により、持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている	→	持ち直しつつある	→	新型コロナウイルス感染症の影響により、一部に底堅さがみられるものの、弱い動きとなっている	→	新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、下げ止まりつつある	→	
福岡	新型コロナウイルス感染症の影響により、持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている	新型コロナウイルス感染症の影響により、持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている	→	緩やかに持ち直している	→	一部に底堅さがみられるものの、新型コロナウイルス感染症の影響により、弱い動きとなっている	→	下げ止まりつつあるものの、新型コロナウイルス感染症の影響により、弱い動きとなっている	→	(表現変更)
沖縄	持ち直しつつある	持ち直しつつある	→	厳しい状況にあるなか、一部に持ち直しの動きがみられるものの、感染再拡大の影響により、弱まっている	→	感染症の影響により、厳しい状況にあり、弱まっている	→	感染症の影響により、弱い動きが続いている	→	(表現変更)



# 企業等の主な声

## 個人消費

### < 財消費 >

- 前年の特需の反動はあるものの、足下においても客足や販売は前年を上回っており、在宅時間の増加に伴う内食需要等の定着から、飲食料品を中心に売上は好調を維持している。【スーパー・大・近畿】
- 外出機会の減少やブランド撤退等の影響もあり、婦人・紳士服は総じて厳しい。【百貨店・中堅・東北】
- 木材、塗料などのDIY関連商品は、需要の一服と木材価格の上昇で売れ行きが落ちてきているものの、全体では売上げ・客数ともに例年並みに戻ってきている。【ホームセンター・大・中国】
- 在宅勤務や学校のオンライン授業などから、パソコン等の通信機器がよく売れている。【家電量販店・大・沖縄】
- 半導体不足による減産の影響により、納期が遅れているほか、受注がやや伸び悩んでいる。【自動車販売・中堅・福岡】

### < サービス消費 >

- 6月以降は、ワクチン普及の動きからか問い合わせは増加しているが、予約が増加している状況ではない。先行きについても今後の感染拡大状況に大きく左右されるため、不透明感が強い。【旅行代理店・大・近畿】
- 飲食サービスは、感染状況の悪化や時短営業等により、他のテナントと比較しても特に厳しい状況。当施設全体への来店客数が回復するにつれ、徐々に回復するものとみている。【不動産・大・北海道】
- 団体が宴会などで利用する店舗などは、足下でも売上げが低迷した状態が続いているが、ワクチン接種の進行により、高齢者の先行接種の効果で一部店舗では高齢者の利用の回復がみられている。【飲食サービス・中小・中国】

## 生産活動







- 4-6月期は半導体の供給不足の影響により望んだ生産が出来なかった。需要は好調だが、生産は半導体の供給量次第であり見通せない。【自動車・大・関東】
- 世界的な半導体不足の影響を受け、半導体を使用する部品の調達に支障が出る見込みとなったことから、部品の調達状況に応じて生産調整を行っている。【自動車・大・中国】
- 国内は半導体製造装置向けを中心に着実に増えつつある。海外は中国が過去最高の受注であったほか、北米や欧州も戻っている。ただし、足下では問題がないものの、半導体不足が今後の生産に影響を及ぼす恐れもある。【生産用機械・大・東海】
- リチウムイオン電池は、世界的に脱炭素社会の実現に向けて自動車がEVにシフトしている流れを受け、業界全体で好調。【生産用機械・大・近畿】
- 受注は引き続き好調。個食の増加などから冷凍パスタの需要は増加傾向にあり、大手スーパーやドラッグストアなども商品の種類を増加させており、需要増が続いている。【食料品・中堅・四国】
- 4-6月期は生産、受注共に好調でコロナ前の水準に戻っている。白物家電や自動車向け、それ以外もどの分野も良い。仕向地では特に中国や韓国向けが良く、中国の省エネ政策により白物家電の売れ行きが良い。ただし、半導体不足の影響で生産水準が落ちているラインが一部ある。【電子部品/デバイス・中小・北陸】
- 外出自粛に伴う巣ごもり需要により、食品包装材向けの需要が堅調なほか、半導体需要の高まりにより、半導体製造装置の部材向けなどの需要も堅調であることから、定期修理などの設備の制約を除けばフル生産となっている。【化学・大・中国】

## 雇用情勢

- 製造業などの新規求人数が増加しているほか、飲食・宿泊業などではアフターコロナを見据えた求人も出始めていることなどから、有効求人倍率は上昇傾向にある。【公的機関・東北】
- 輸送用機械向けの工作機械を扱う企業や、半導体製造装置向けの部品を扱う企業からの求人が出てきている。飲食サービス業では、感染拡大の都度、営業時間の短縮などの規制が強くなることもあり、企業が慎重になっているため求人がなかなか戻らない。【公的機関・東海】
- 製造部門では不足感があるため非正規を採用している。最近では求人数が増えてきたため、募集しても応募がなく採用が厳しくなっている。【食料品・中堅・関東】
- 感染症の影響により、例年と比較すると業務量が3分の1となったため、雇用調整助成金を活用して、従業員の休業措置を行っている。【宿泊・中堅・福岡】

注) 各財務局は企業等へのヒアリングを主に6月中旬から7月中旬にかけて実施。

# 各地域の「総括判断」①

	前回 (令和3年4月判断)	今回 (令和3年7月判断)	基調 比較	総括判断の要点
北海道	新型コロナウイルス感染症の影響により <u>厳しい状況にあるなか、持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている</u>	新型コロナウイルス感染症の影響により <u>厳しい状況にあるなか、持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている</u>		個人消費は、感染症の影響により一部に弱さがみられるなか、持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている。生産活動は、緩やかに持ち直しつつある。雇用情勢は、感染症の影響により、弱い動きとなっている。観光は、感染症の影響により、弱まっている。
東北	新型コロナウイルス感染症の影響により、 <u>厳しい状況にあるものの、緩やかに持ち直しつつある</u>	新型コロナウイルス感染症の影響により、 <u>厳しい状況にあるものの、持ち直しつつある</u>		個人消費は、新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直している。生産活動は、輸送機械が半導体不足の影響により減産の動きがみられるものの、電子部品・デバイスが通信機器向けなどで好調となっているなど、持ち直している。雇用情勢は、新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直しつつある。
関東	新型コロナウイルス感染症の影響により、 <u>厳しい状況にあるなか、一部に弱さがみられるものの、緩やかな持ち直しの動きが続いている</u>	新型コロナウイルス感染症の影響により、 <u>厳しい状況にあるなか、一部に弱さがみられるものの、緩やかな持ち直しの動きが続いている</u>		個人消費は、宿泊や飲食サービスが弱含んでいる一方、百貨店販売額やコンビニエンスストア販売額、ドラッグストア販売額が前年を上回っているなど、感染症の影響により、一部に弱さがみられるものの、緩やかな持ち直しの動きが続いている。生産活動は、輸送機械が減少している一方、化学、汎用機械が増加しているなど、一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直しつつある。雇用情勢は、下げ止まりつつあるものの、感染症の影響により、弱い動きとなっている。
北陸	新型コロナウイルス感染症の影響により、 <u>厳しい状況にあるなか、一部に足踏みがみられるものの、持ち直しつつある</u>	新型コロナウイルス感染症の影響により、 <u>厳しい状況にあるなか、一部に足踏みがみられるものの、持ち直しつつある</u>		個人消費は、ドラッグストア販売が順調となっており、家電大型専門店販売は緩やかに回復している。また、百貨店・スーパー販売が緩やかに持ち直しつつあるなど、新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるなか、一部に足踏みがみられるものの、緩やかに持ち直しつつある。生産活動は、電子部品・デバイス、生産用機械が回復していることなどから、全体では緩やかに回復しつつある。雇用情勢は、新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直しつつある。
東海	新型コロナウイルス感染症の影響により、 <u>一部に厳しい状況があるものの、持ち直している</u>	新型コロナウイルス感染症の影響により、 <u>一部に厳しい状況が残るものの、緩やかに回復しつつある</u>		個人消費は感染症の影響により、サービス消費に弱さがあるものの、コンビニエンスストア販売や百貨店販売では緩やかに持ち直している。生産活動は一部に弱い動きがあるものの、自動車関連産業を中心に回復している。こうしたなか、雇用情勢は弱い動きが続いている。
近畿	新型コロナウイルス感染症の影響により、 <u>厳しい状況にあるなか、一部に弱さがみられるものの、持ち直しつつある</u>	新型コロナウイルス感染症の影響により、 <u>厳しい状況にあるなか、一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直している</u>		個人消費は、一部に弱さがみられるものの、持ち直しつつある。生産活動は、生産用機械などが上昇しているなど持ち直している。雇用情勢は、感染症の影響がみられるなか、横ばいの状況にある。

## 各地域の「総括判断」②

	前回 (令和3年4月判断)	今回 (令和3年7月判断)	基調 比較	総括判断の要点
中国	新型コロナウイルス感染症の影響により、 <u>厳しい状況にあるものの、持ち直しの動きが続いている</u>	新型コロナウイルス感染症の影響により、 <u>厳しい状況にあるものの、持ち直しの動きが続いている</u>		個人消費は、新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直している。生産活動は、総じて需要が堅調であるものの、輸送機械で半導体不足による供給面での制約もあって、持ち直しのテンポが緩やかになっている。雇用情勢は、新型コロナウイルス感染症の影響により、弱含んでいる。
四国	新型コロナウイルス感染症の影響により、 <u>厳しい状況にあるなか、一部に弱さがみられるものの、持ち直しつつある</u>	新型コロナウイルス感染症の影響により、 <u>厳しい状況にあるなか、一部に弱さがみられるものの、持ち直しつつある</u>		個人消費は、スーパーが堅調であるほか、家電大型専門店等が順調となっているものの、観光等が低調であることから、全体としては感染症の影響により、持ち直しのテンポが緩やかになっている。生産活動は、食料品が緩やかに持ち直しつつあるほか、電気機械が緩やかに持ち直しており、汎用・生産用機械は厳しい状況にあるものの、緩やかに持ち直していることから、全体としては緩やかに持ち直している。雇用情勢は、一部に底堅さがみられるものの、感染症の影響により、弱い動きとなっている。
九州	新型コロナウイルス感染症の影響により、 <u>厳しい状況にあるなか、持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている</u>	新型コロナウイルス感染症の影響により、 <u>厳しい状況にあるなか、持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている</u>		個人消費は、持ち直しに向けた動きがみられるものの、新型コロナウイルス感染症の影響により、宿泊など観光面が依然として厳しい状況にあるなど、持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている。生産活動は、電子部品・デバイスや汎用・生産用・業務用機械を中心に、持ち直しつつある。雇用情勢は、感染症の影響がみられるものの、下げ止まりつつある。
福岡	新型コロナウイルス感染症の影響により、 <u>厳しい状況にあるなか、一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直しつつある</u>	新型コロナウイルス感染症の影響により、 <u>厳しい状況にあるなか、一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直しつつある</u>		個人消費は、新型コロナウイルス感染症の影響により、サービス消費などの一部に弱さがみられており、持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている。生産活動は、自動車で足踏みがみられるものの、緩やかに持ち直している。雇用情勢は、下げ止まりつつあるものの、新型コロナウイルス感染症の影響により、弱い動きとなっている。
沖縄	新型コロナウイルス感染症の影響により、 <u>厳しい状況にあるなか、持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている</u>	新型コロナウイルス感染症の影響により、 <u>厳しい状況にあるなか、持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている</u>		個人消費は、前年の新型コロナウイルス感染症による外出自粛の高まりにより落ち込んだ反動増などから、百貨店・スーパー、ドラッグストア、新車・中古車販売台数や家電販売額は、前年を上回るなど、持ち直しつつある。観光は、入域観光客数が大幅に減少するなど厳しい状況にあり、弱まっている。雇用情勢は、感染症の影響により、弱い動きが続いている。



# 各地域の「先行き」

## 今回（令和3年7月）

北海道	先行きについては、感染拡大の防止策を講じ、ワクチン接種を促進するなかで、各種政策の効果もあって、持ち直しに向かうことが期待される。ただし、感染の動向が地域経済に与える影響に十分注意する必要がある。
東北	先行きについては、感染拡大の防止策を講じ、ワクチン接種を促進するなかで、各種政策の効果もあって、持ち直しの動きが続くことが期待される。ただし、感染の動向が地域経済に与える影響に十分注意する必要がある。
関東	先行きについては、感染拡大の防止策を講じ、ワクチン接種を促進するなかで、各種政策の効果や海外経済の改善もあって、持ち直しの動きが続くことが期待される。ただし、感染の動向等が地域経済に与える影響に十分注意する必要がある。
北陸	先行きについては、感染拡大の防止策を講じ、ワクチン接種を促進するなかで、各種政策の効果や海外経済の改善もあって、持ち直しの動きが続くことが期待される。ただし、感染の動向が地域経済に与える影響に十分注意する必要がある。
東海	先行きについては、感染拡大の防止策を講じ、ワクチン接種を促進するなかで、各種政策の効果や海外経済の改善もあって、緩やかに回復していくことが期待される。ただし、感染の動向が内外経済に与える影響に十分注意する必要がある。
近畿	先行きについては、感染拡大の防止策を講じ、ワクチン接種を促進するなかで、各種政策の効果や海外経済の改善もあって、持ち直しの動きが続くことが期待される。ただし、国内外における今後の感染症の動向、金融資本市場の変動の影響等を注視する必要がある。
中国	先行きについては、感染拡大の防止策を講じ、ワクチン接種を促進するなかで、各種政策の効果もあって、持ち直しの動きが続くことが期待される。ただし、感染の動向が内外経済に与える影響に十分注意する必要がある。
四国	先行きについては、感染拡大の防止策を講じ、ワクチン接種を促進するなかで、各種政策の効果や海外経済の改善もあって、持ち直していくことが期待される。ただし、感染の動向が地域経済に与える影響に十分注意する必要がある。
九州	先行きについては、感染拡大の防止策を講じ、ワクチン接種を促進するなかで、各種政策の効果や海外経済の改善もあって、厳しい状況から持ち直しに向かうことが期待される。ただし、感染の動向が内外経済に与える影響に十分注意する必要がある。
福岡	先行きについては、感染拡大の防止策を講じ、ワクチン接種を促進するなかで、各種政策の効果や海外経済の改善もあって、持ち直しの動きが続くことが期待される。ただし、感染の動向が内外経済に与える影響に十分注意する必要がある。
沖縄	先行きについては、感染拡大の防止策を講じ、ワクチン接種を促進するなかで、各種政策の効果等もあって、持ち直しに向かうことが期待される。ただし、感染の動向が地域経済に与える影響に十分注意する必要がある。

## 【参考】財務省財務局「管内経済情勢報告」とは

- 財務省財務局は、全国11地域の経済動向を取りまとめた「管内経済情勢報告」を全国財務局長会議において年4回報告し、対外公表。地域経済の動向を継続的に調査することで、国の財政政策等の企画立案に寄与し、地域へ情報発信。
- 各種経済指標の分析に留まらず、様々な業種や規模の企業に対してヒアリングを行うことで、地域の実情に即したきめ細かな調査（47都道府県ごと）を実施。また、地域経済の特定テーマに関する調査（特別調査）も随時実施。

<b>実施部局</b>	財務省 : 「全国財務局管内経済情勢報告概要」(全国の取りまとめ) - 財務局 : 「管内経済情勢報告」(全国11地域) - 財務事務所 : 「経済情勢報告」等(各都道府県)	
<b>調査方法</b>	財務省や他省庁等が公表する各種経済指標の分析に加え、企業へのヒアリング(約1,300社)で得られた情報を総合的に勘案し、地域の経済情勢を判断	
<b>調査事項</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 個人消費、生産活動、雇用情勢(主要3項目)</li> <li>・ 設備投資、企業収益、企業の景況感、観光、住宅建設、公共事業、輸出など</li> </ul> <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 0 10px;">             〔 本調査に付随して、① 地域経済の特定テーマに関する調査(特別調査)を随時実施 ② 国の財政運営等に対する地域の意見・要望を把握 〕         </div>	
<b>(所管統計)</b>	法人企業統計調査、法人企業景気予測調査等	
<b>情勢判断</b> (景気判断)	<b>全国</b>	「全局総括判断」(全国11地域の情勢判断を総括)
	<b>地域別</b>	全国11地域+47都道府県(財務局、財務事務所の管轄区域ごと)
<b>判断期間</b>	四半期ごと(前回判断から足下まで)	
<b>公表時期</b>	年4回(1月・4月・7月・10月の下旬頃)	

(注1) 「財務局」とは、全国の9財務局(北海道、東北、関東、北陸、東海、近畿、中国、四国、九州)、福岡財務支局、沖縄総合事務局をいう。

(注2) 北海道財務局管内の財務事務所・出張所では、道内における各地域の経済動向を取りまとめた「経済レポート」等を公表。

問い合わせ先

財務省大臣官房総合政策課

東京都千代田区霞が関3丁目1番1号

TEL. 03-3581-4111 (内線) 2252, 2225

財務省ホームページ <https://www.mof.go.jp/>